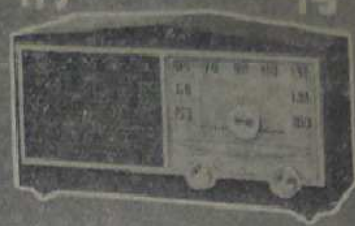


SS-58型5球スーパーの 機構と特質



機構

キャビネット材料は、新しくイ
ンパクト(衝撃性)スチロールを
採用しました。これは、従来のプ
ラスチックキャビネットに比べて
特に衝撃に強く、温度の変化に対
しても安定でなお、バツフル効果
もよく、ラジオキャビネットとし
て最適のもので、その美しい艶
肌、柔和な色調と併わせて本機の
特長の一つとなつていきます。

その大きさは、高さ、17cm・
巾30cm・奥行13cm・重量3.05
kgというパーソナル型で、軍艦た
ら、さしづめ袖珍戦艦とでもいう
ところでしょうか。

正面右半部ダイヤルは、横縞模
様の軟かい感じのバックスクリー
ンを配した廻転式ダイヤルで、真
空蒸着を施された指針は、銀色漆
然と輝いてそのエスカッションに
一大風彩を放つています。

ダイヤル回転比は、15:1でそ
のロープはすでに他の品種でも好
評を博しているナイロン被覆のガ
ラス繊維の糸を使用していますの
で、廻転による選局は極めてスム
ースに行われます。

ツマミは左側が電源スイッチ兼
音量調整、右側が同調用となつて
おり、そのデザインも又キャビネ
ットによくマッチしているものと

本機は、わが国ラジオ界に新氣
運を吹き起こしてきましたッサン
ヨー・プラスチックラジオ・シリ
ーズの一環をなすもので、その洗
練された優美なデザインは堅實な
る内部機構と相俟つて、必ずや市
場に好評を博しましょう。次に設
計當事者としてその機構と特質に
ついて、少々説明を試みました。

いえましよう。

スピーカーは、本機のために新
しく設計された五吋口径のもの
で、高低音の音域のバランスがよ
くとれて歪みも極めて少なく、キ
ャビネットによくマッチしていま
すので、小型軽量ながら聞き易
い、歯切れのよい音を再生してい
ます。

シャーシーは、0.9mm 鋼板を使
用、ユニクロムメッキを行い、そ
の上に防蝕加工を施していますの
で湿気等に対しても非常に強靱で
す。

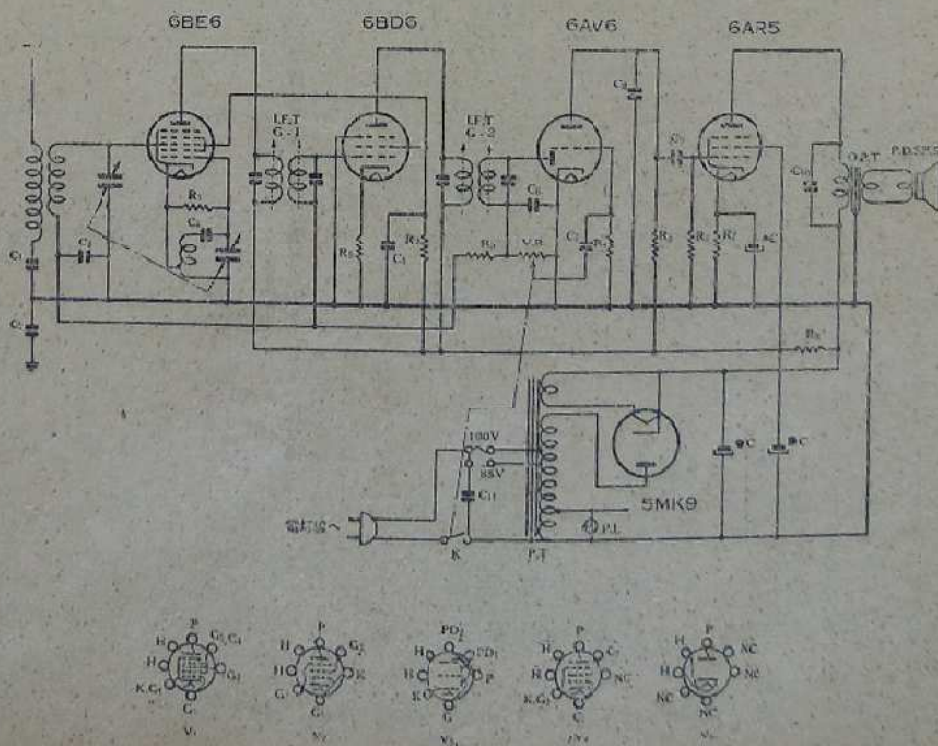
ミニアチューブ管を使用し、コン
パクトに組むため、在来の機種か
ら脱却し、しかも過去一年の間の
試作・実験・測定の結果、部品を
最も有効に生かした適切な配置、
配線を試みました。

回路

本機の回路は、第1図のように
オートトランス方式のミニアチュ
ブ管使用五球スーパー回路です。
従つて小型とはいへ大型セットに
勝ることも劣らぬ諸種の特性を誇
つています。

アンテナコイルはハイ・インピ
ダンス型を使用し、わずかの室
内アンテナにより十分な利得を得
るように期し、又、受信機周波数
全域に亘つてほぼ平坦な特性が得
られるようになっていきます。

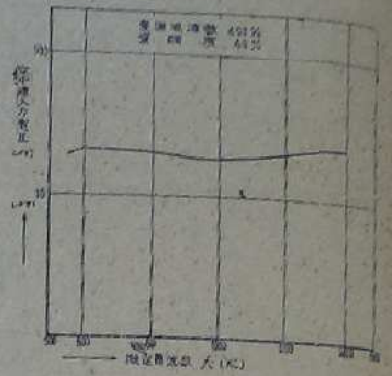
第1圖



- 図中：一
- V1 6BE6
 - V2 6BD6
 - V3 6AV6
 - V4 6AR5
 - V5 5MK9
 - 0 電解コンデンサー
 - ▲ 5μF ■ 10μF
 - 2μF
 - C1 20 PF チタコン
 - C2 1.0μF W.V1000VDC W.V400VDC
 - C3 0.05μF
 - C4 20PF ±3.5% チタコン
 - C5 0.05μF W.V1000VDC W.V400VDC
 - C6 20PF チタコン
 - C7 0.05μF W.V1000VDC W.V400VDC
 - C8 100PF チタコン
 - C9 0.1μF W.V1000VDC W.V400VDC
 - C10 0.05μF ナイルコン
 - C11 " "
 - R1 20KΩ B.J α%L
 - R2 1KΩ H
 - R3 2MΩ B-1 α%L
 - R4 5KΩ B-1 α%L
 - R5 100Ω B-1
 - R6 10KΩ B-1 α%L
 - R7 10Ω B-1
 - R8 2.5KΩ B-1
 - R9 52Ω

真空管ソケット接続図

第2圖 感度特性



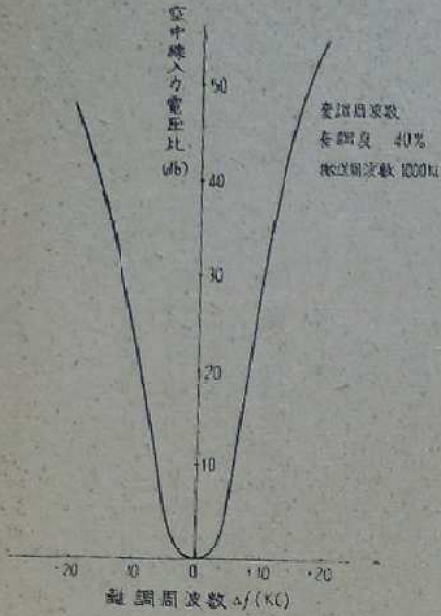
単一調整については固定共振コイル、ならびに固定バツティングコンデンサーで完全な調整がとつてありますので、輸送途次、その他の衝動による狂いは殆どありません。

中間周波増巾管6BD6のバイパスコンデンサーは、これをはずすことにより、少しでも負饋還をかけて増巾動作の安定を期していただきます。

ルームラジオ又はベッドラジオとしての使命からみて出来るだけコンパクトに組むためにオートトランス方式を採用していただきます。

従つてSS 53型の場合と同様A・C 100Vが50.0 5Hzコンデンサーの容量を1マイナー調整する

第3圖 選択度特性



種々なる受信機特性中、特に關心の持たれている感度特性、選択度特性、電気音響的忠実度特性について二、三述べましょう。

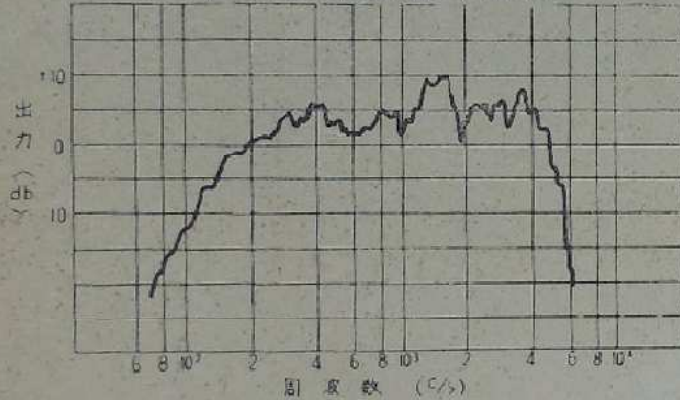
特性

この時にはプラグをさしかえれば解決します。

なお、先にも述べましたように、シャーシーはアース母線と0.5mmで介されていますのでハムの手配は殆どありません。

その他回路関係については標準方式と大差ありませんが、機構の項で述べましたように部品の配置および配線には十分に配慮し、この種セットとしては最高の感度、最良の音質を得ることが出来ました。

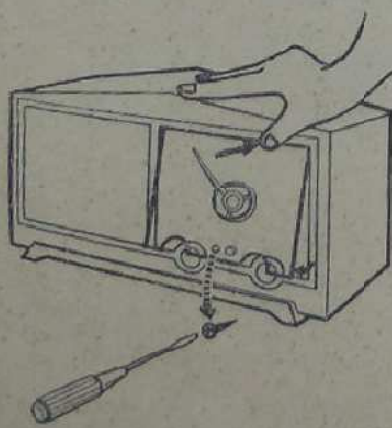
第4圖 電気音響的忠実度特性



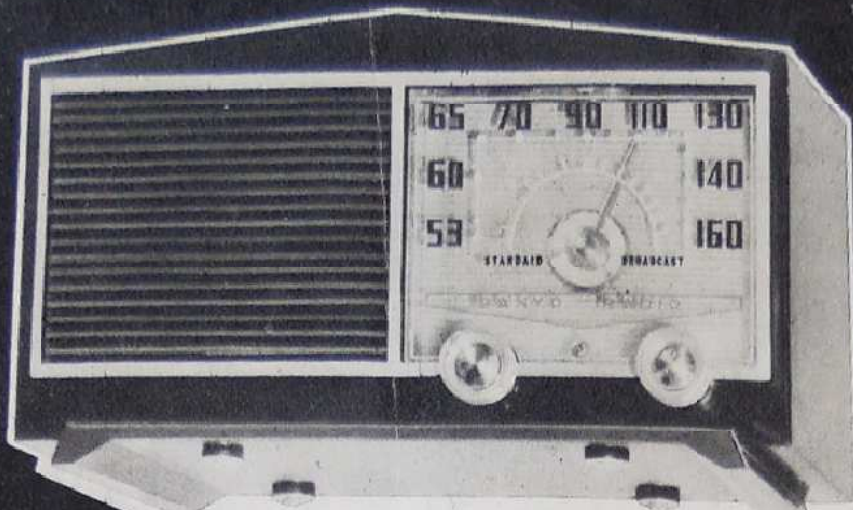
テナ入力に搬送周波数を2000Hz、10%変調をかけた信号を入れ、出力600mVを得るに要する空中線入力電圧を示したもので、前述のように、アンテナコイルにハイインピーダンス型を使用していますので、全受信用周波数帯域にわたり、ほぼ平坦な特性を得ることが出来、しかも入力電圧800mV前後という高感度のセットとなっています。

- 第三圖は選択度特性でHUMS、分離した時に同一出力を得るに要する空中線入力電圧比において20dB以上減衰していますので、選局は十分出来、しかもそれ程シャープでもないのです、忠実度の点から考えても妥当なものといえます。
- 第4圖は電気音響的忠実度特性を示したもので、いわば受信機全部の総合特性であり、アンテナ端子に搬送周波数800K.C.、40%変調の変調波を入れた時の音響出力を周波数特性自動記録装置によつて得たものです。これによつて見ますと、スピーカーは小口径とはいへ比較的低い周波数までよく再生し、その上ほぼフラットな周波数特性を有し、耳で聞いた聞き易いという感じをよく反証しています。
- この他、試作製品を品質管理係で精密周到に測定して種々の良好な満足すべき結果が得られました。が、複雑になりますのでここでは割愛します。
- (住道工場技術課 H)

シャーシーの取り出し方、入れ方



- ① ツマミを抜き取る。この場合開けて手でぬかない時はツマミに布をまきつけて手前に引張ると他に傷をつけることなく抜き取る。
- ② ダイアル文字板中央下部の4個のビスを抜き取る。ドライバーのない時は図のような小型ドライバーでも用は足りる。
- ③ 文字板を取り外す。このとき文字板上部を奥のように手で押さえると下部が浮くからその状態を斜め下に引張ると簡単に取り外せる。
- ④ 指針を抜き取る。(布で指針をつかんで抜いて下さい。)
- ⑤ キャビネット下部のシャーシー止ビス(四個)を外す。
- ⑥ バイレットランプを取り外す。真直ぐシャーシーを緩方に引張ると簡単に外れる。次にシャーシーを入れる場合はこれとの逆の動作を行うのであるが注意する点を述べる。
- ⑦ シャーシーを止ねじでキャビネットに取り付ける場合はバリコンの軸がバックプレート(文字板後部のプラスチック板)真中の孔の中央にきているかを確かめて後完全に取りつける。
- ⑧ 指針を取りつける時はバリコンの容量を最大(ダイアルシャーシフトを左方面に押しきき)にしておいて取り付けるのであるが、その時バックプレートに三角の小さい点が付いているから、その点に指針の先端を合わせる。文字板の周波数目盛にピッタリ合う。



SS-58型5球スーパー
プラスチック製・MT管使用
現金正価 7,950円

海をわたるラジオ

SS-58型ラジオは「優秀な電化商品の廉価提供」をモットーとする当社がこのたび月産20,000台の広大なラジオ工場の偉力を最高度に発揮した合理生産の結果、いままでのラジオの1/2に近い価格で完成した高い品位とすばらしい性能を持つセットです。海外諸国へも日本の代表ラジオとして輸出されることはもちろん、国内においても、購買層を更に拡げるラジオとして大いに期待できます。



サンヨーラジオ